

# 相模中学校だより 11月号

令和6年11月27日 発行：校長 小川雅嗣



このところは急に寒さも感じられるようになりました。今月は、期末試験と相模祭に向けて、熱心に取り組む生徒たちの姿が見られました。特に相模祭は合唱に向けて、生徒たちの歌声が校内に響いていました。試験と重なりましたが、どちらも無事に終わりホッとしています。当日は多くの保護者の皆様にご来場いただきありがとうございました。

## 相模祭合唱コンクール

11月21日は、相模大野の相模女子大学グリーンホールにて相模祭を行いました。午前中は2年・1年の順に、午後は3年が学年合唱とクラス合唱を発表しました。学年合唱はどの学年も迫力があり力強い合唱を聴くことができました。

今年の相模祭の目標は、「響力 - 共に輝く -」です。クラス合唱も、どのクラスも素晴らしく、今までの練習の成果とともに、「クラス一人ひとりの思い」が聴く人一人ひとりの心に響いていると感じることができました。最優秀賞・優秀賞のクラスは次のとおりです。（他のクラスの写真はHPでご覧ください。）



2年学年合唱



1年学年合唱



3年学年合唱



優秀賞 2年1組



優秀賞 1年3組



優秀賞 3年1組



優秀賞 2年2組



優秀賞 1年5組



最優秀賞 3年3組

## 相模祭部活動・相模級発表

午後からは、合唱部、相模級、演劇部の発表がありました。合唱部は、合唱部だけで1曲、3年男子有志を入れて1曲歌いました。相模級は、ハンドベルで2曲、リコーダーで2曲演奏しました。演劇部は、「シゲさん家」という作品を披露しました。どの発表も練習の成果が見られ、とても感動するものでした。



合唱部と3年男子有志



相模級



演劇部

# 相模祭を終えて

相模祭副実行委員長 伊藤 沙也花

みなさん相模祭おつかれ様でした。

今回の目標は「響力ー共に輝くー」でした。この目標を達成するために、クラス・学年はもちろん、時には常任委員会・部活動での協力があったかもしれません。そんなたくさんの協力が相模祭で発揮されていたと私は思います。相模祭は終わってしまいましたが、行事を通してできた絆をより深めて、残りの学校生活も楽しんで行きましよう!!

3年合唱委員長 阿部 佳奈

私は、毎日音楽の授業や昼休み、帰り学活などの練習している姿を見て、絶対に良い合唱をつくることができると思っていました。結果がどうであれ本番の合唱は、どのクラスも今までで一番良かったと思います。クラス・学年の壁を越えて作ることができた合唱。体育祭、相模祭で築き上げたきずなをこれからの学校生活に活かしていましよう!

2年合唱委員学年代表 徳永 朝飛

今回の相模祭は初めてのグリーンホールでの開催となりました。皆さんがマナーを守ってくれたおかげで、無事に相模祭を終えることができました。感謝しています。相模祭当日、どの学年、クラスの合唱も今までの努力が伝わってくる素晴らしいものでした。相模祭で優秀賞を取ったクラスも取れなかったクラスもそれだけで終わるのではなく、今後の学校生活に活かして欲しいと思います。

1年合唱委員学年代表 大林 創馬

僕は初めての相模祭で、とても大切な役割の合唱委員になりました。学年練習の時はどう仕切ったりすればいいんだろう。など、わからないことが沢山あったのですが、合唱委員の仲間や学年みんなの協力があり、計画的に相模祭に向けて進めることができました。当日はとても緊張したのですが、楽しかったと思える相模祭になることができました。当日までみんなで響力し、輝くことができ、とても良い経験になりました。

## 相模中コミュニティ・スクール

相模中コミュニティ・スクールも3年目を迎え、元PTA会長の関川幸治さんを代表に9名の委員さんが年4回の会議を開いています。活動としては、特別支援級の家庭科授業の手伝いや職場体験・職業人講話の講師依頼など行っています。

また、12月14日(土)には、コミスク最大のイベントである「コミスククリスマス」を学校で開催します。これは、青少年指導員さんが主催する「青少年フェスティバル」とタイアップしたイベントで、ステージ発表やスマートボール・ストラックアウトなどのゲーム、豚汁やポップコーンなどの提供があります。

中学生はもちろん、小学生や地域の人たちも大勢参加します。また、相模中学生は参加して楽しむことも、ボランティアとして参加した皆さんが楽しむお手伝いをすることもできます。ボランティアはずっとではありません。イベントに参加する時間とボランティアに参加する時間とそれぞれありますので、両方体験できるとよいと思います。(下の写真はコミスクの会議の様子)

